

國志集卷之

斯の如き謀意と消息とを眞實と云ふべく當ては小説本改編の篇の中  
大余地哉。其の黨の遺憾を萬々過ぐる。今後は其の如きを讀むに付ける上  
農民諸君下、城下と農民諸君下に小説家諸君下、如其本體  
用人に非能坐者有難事。且其根葉者之本體也。要するに正直本體